

敦煌寫本研究年報

高田時雄 主編

第八號

2014年3月

京都大學人文科學研究所

中國中世寫本研究班

注 記

本誌『敦煌寫本研究年報』は京都大學人文科學研究所の共同研究「中國中世寫本研究」班の研究報告である。この第八號に掲載した論文は平成 25 年度の研究班例會での報告が中心となっているが、一部平成 24 年度報告分も含んでいる。

目次

前涼・張駿の行政区畫改編と涼州・建康郡の設置	
改編年次に係わる司馬光の見解と考古資料による新見解 白須淨眞	1
中國古代“死而復生”故事的類型與演變 王晶波	19
二月八日の出家踰城と敦煌の法會、唱導 荒見泰史	31
公主君者者の手紙 S.2241 の受信者・發信者・背景について 坂尻彰宏	47
聖語藏の『寶雨經』 則天文字の一資料 大西磨希子	69
陳寅恪論及敦煌文獻續記	
遺墨「敦煌研究」と講義「敦煌小説選讀」 永田知之	83
五胡十六國霸史輯佚補遺 藤井律之	105
S.1519V「寺院收藏文獻目錄(擬)」に見る10世紀敦煌の講唱體文獻	
高井龍	145
公私書札禮と社會秩序 書儀に見る おおやけ と わたくし 山本孝子	167
敦煌本「七七齋」資料再考 その齋會のあり方を兼ねて 徐銘	181
《敦煌秘笈》部分佛教與道教文書定名 呂德廷	195
再論「吐蕃論董勃藏修伽藍功德記」 羽 689 の分析を中心に 岩尾一史	205
李滂と白堅(三補) 高田時雄	217

〔敦煌寫本研究年報 第八號〕

2014年3月31日發行

編者 高田時雄

發行者 京都大學人文科學研究所
「中國中世寫本研究班」

〒606-8265 京都市左京區北白川東小倉町47

Phone 075-753-6993 Fax 075-753-6999

ISSN 1882-1626